

TECHNICAL DATA SHEET



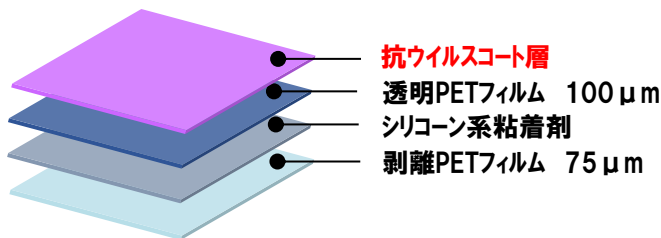
PROCEED[®]-アンチウイルスプロテクト

概要

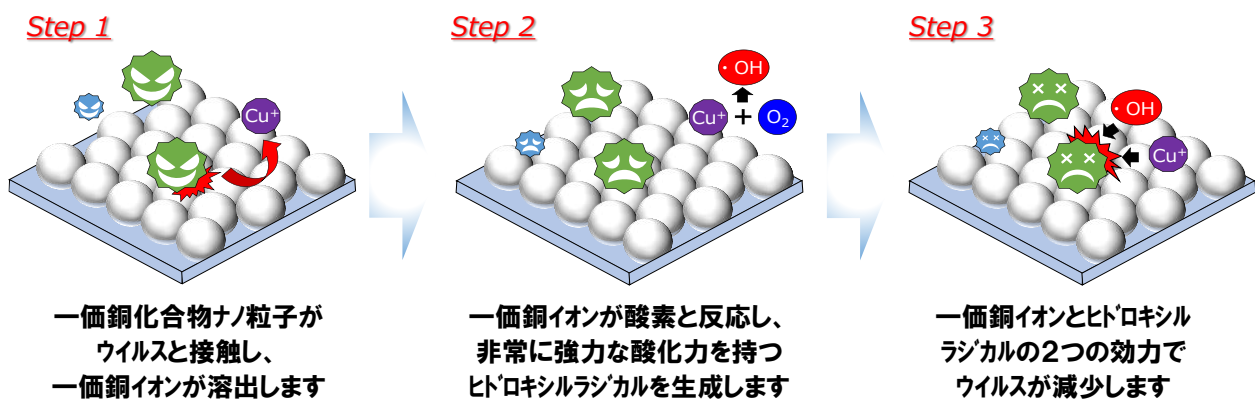
"PROCEED[®]-アンチウイルスプロテクト"は、抗ウイルスコートを施したPETフィルム基材にエア抜け性の高いシリコン微粘着剤を塗布した透明性の高い粘着シートです。表面コートには抗ウイルス効果があり、短時間でその効果を発揮します。

※株式会社NBCメッシュテックの抗ウイルス・抗菌技術「Cufitec[®]」を使用しています。
Cufitec[®]は株式会社NBCメッシュテックの特許技術です。

構成



抗ウイルスのメカニズム



特徴

- ★フィルム表面の特定のウイルスを、1時間で99.9%減少させます。
- ★抗ウイルス剤を高分散させており、透明性を維持しています。
- ★シリコン系粘着剤を使用しており、エア抜け性に優れます。
- ★製造工程を全てクリーンルームで行っています。

TECHNICAL DATA SHEET



特性

【抗ウイルス性(ISO21702)】

(試験方法)

- ① 5cm角の試験片(抗ウイルス加工品と無加工品)に0.4mLのウイルス液を滴下し、4cm角のフィルムで被覆。
- ② この試験片を25℃×各時間静置。
- ③ 静置後、試験片上のウイルスを洗い出して回収した後、ウイルス感染価^{*}を測定。
- ④ 次式により、抗ウイルス活性値を算出。

$$R = U_t - A_t$$

U_t : 対照試料(無加工品)の24時間静置培養後の感染値(常用対数の平均)

A_t : 試験試料(抗ウイルス加工品)の24時間静置培養後の感染値(常用対数の平均)

^{*}ウイルス感染価: 試料中に含まれる感染性をもつウイルス量

(試験結果)

ウイルス種	接触時間 (H)	抗ウイルス剤なし 平均感染価 log (PFU/試料)	抗ウイルス剤あり 平均感染価 log (PFU/試料)	抗ウイルス活性値 Mw
エンベロープあり	1	5.32	1.65	3.7 (ウイルス99.9%減少)
	24	4.20	< 0.80	> 3.4 (ウイルス99.9%以上減少)

※ウイルス種: インフルエンザウイルス

※試験データは、株式会社NBCメッシュテックの社内試験による試験結果

(実測値であり、実際の使用状況による効果を保証するものではありません)

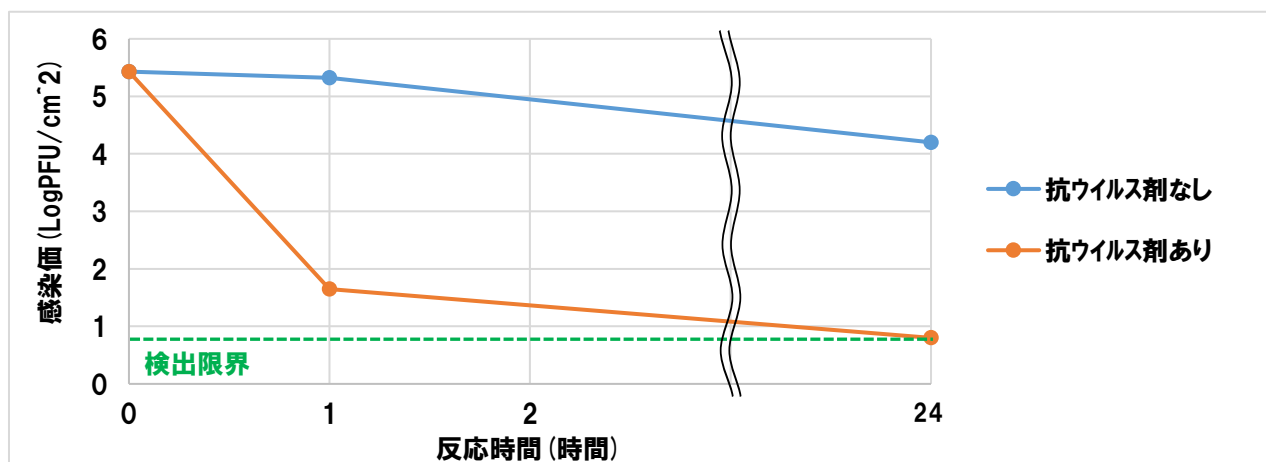
【参考】SIAA 抗ウイルス性評価基準: 抗ウイルス活性値 = $U_t - A_t \geq 2.0$

接触時間 24時間

試験ウイルス A型インフルエンザウイルスまたはネコカリシウイルスの

いずれか1種以上

- (例) 抗ウイルス活性値 1.0 ⇒ 無加工品比較して、ウイルスが90%減少
 抗ウイルス活性値 2.0 ⇒ 無加工品比較して、ウイルスが99%減少
 抗ウイルス活性値 3.0 ⇒ 無加工品比較して、ウイルスが99.9%減少



TECHNICAL DATA SHEET



特性

【光学特性】

	測定値	試験方法
全光線透過率 (%)	86.5	・JIS K7361-1準拠
Haze (%)	4.3	・JIS K7136準拠

【粘着特性】

		測定値	試験方法
粘着力 (N/25mm)	1分値	0.04	・JIS Z0237準拠 ・被着体:ガラス
	24時間値	0.13	

【表面フィルム特性】

	測定値	試験方法
鉛筆硬度	H	・JIS K5600準拠

【安全性データ】

試験項目	試験結果	試験機関
急性経口投与毒性試験	最小致死量 (LD50値) は>2000mg/kg	(一財) 食品薬品 安全センター秦野研究所
眼粘膜刺激性試験	眼組織 (角膜・虹彩・結膜) に対して刺激性なし	(一財) 食品薬品 安全センター秦野研究所
皮膚一次刺激性試験	刺激反応は認められない	(一財) 食品薬品 安全センター秦野研究所
皮膚感作性試験	皮膚感作性: 陰性	(一財) 食品薬品 安全センター秦野研究所
変異原性試験	遺伝子突然変異誘発性: 陰性	(一財) 食品薬品 安全センター秦野研究所
細胞毒性試験	スコア: 2 (陽性3以上) Cufitec [®] 成分を塗布した不織布において	Nelson Laboratories, LLC

※株式会社NBCメッシュテックのホームページより引用。

※本データは使用している抗ウイルス材料「Cufitec[®]」の試験結果です。

TECHNICAL DATA SHEET



ご注意

- 全てのウイルスに効果があるわけではありません。
- 本製品は医薬品、医薬部外品ではありません。
- フィルムの表面に汚れが付着していたり、印刷等が施されている場合、抗ウイルス性能が発揮しにくい場合がございます。
- 屋外で使用する場合は、雨で抗ウイルス剤が溶出することにより、抗ウイルス性能が低下する可能性があります。雨のかからない屋内での使用を推奨いたします。
- 表面の清掃については、塗膜が溶剤に侵される懸念が御座いますので、水拭きを推奨いたします。
- 被着体表面の油・埃・水分などはきれいに拭き取ってから貼り付けて下さい。
- 貼り付けはできるだけ、10℃以上の雰囲気下で十分に圧着して下さい。
- 保存場所は直接日光のあたる場所は避け、冷暗所に保管して下さい。

本データは測定値であり保証値ではありません。また、本技術資料に記載の用途への適合性を保証するものでもありません。事前に被着体(貼り合わせる材料)との適合性をご確認頂き、ご使用についてのご検討をお願いいたします。尚、この文章に含まれるノウハウ・営業秘密・著作権・特許などの知的財産に関わる権利は当社に帰属いたします。複写・転載・第三者への開示を含め当社の許可のない目的外のご使用は固くお断り申し上げます。